

私がこの世に生を受けたのは1931年、今から75年前であります。それ以後の社会情勢は、日中戦争、第2次世界大戦、そして昭和20年の敗戦となります。その後も戦争は絶えません。ベトナム戦争、朝鮮戦争等々、そして21世紀は平和の世紀の幕開けと願っていましたが、アメリカにおいてテロが発生し事態は一変致しました。

戦後の日本は、経済・文化の面で目覚ましい発展を遂げ、人間の欲望を満足させる点では凄まじい勢いで伸びて来ました。然し今迄の常識では考えられない事件が多発しています。

さて宗祖親鸞聖人は、今から800年も前に90年の生涯のご苦勞を通して、私たち人間の本当の姿を顕かにして下さいました。親鸞聖人は9歳で出家得度し、比叡山延暦寺に登り20年間、堂僧として自力の修行をされましたが、証（さと）りを得ることなく、山を下りて、法然上人の吉水の門をたたき、真の信心を頂かれました。

私が生存する現代社会は悪を犯さなければ生きられません。その悪人こそが阿弥陀仏の本願の掛けられた身であり、本願成就のために阿弥陀仏がご苦勞下さっています。

親鸞聖人は私達を「罪惡深重煩惱熾盛」の凡夫、即ち悪人と教えられました。末法の現代に生きる私達凡夫は、自力無効と自覚し、阿弥陀仏の本願力によらなければ救いは有りません。

阿弥陀仏の光に照らされて生きる人生と自覚する。そこに人生が転換して行きます。一人一人の人生は苦難の人生ではありますが、その中に意味を見いだして一日一日を大切に生きたいものです。